



2020 イベント★カレンダー

1	火	カフェ・体操教室	16	水	
2	水		17	木	
3	木		18	金	カフェ・二胡教室
4	金		19	土	カフェ 東大寺清掃ボランティア活動
5	土		20	日	
6	日		21	月	
7	月		22	火	カフェ フラワーアレンジメント
8	火	カフェ・三味線教室	23	水	
9	水		24	木	
10	木		25	金	カフェ・三味線教室
11	金	カフェ・二胡教室	26	土	カフェ・野菜販売
12	土		27	日	
13	日		28	月	
14	月		29	火	
15	火		30	水	
			31	木	

営業時間 11:00 ~ 15:00 ☎

コロナの影響により、グランドピアノ生演奏・認知症相談会は中止とさせていただきます。

＜ 出原佳代先生 体操教室 ＞
12/1 (火) 13:30~

音楽に合わせて体を動かし
健康寿命をのばしましょう♪



＜ フラワーアレンジメント ＞
12/22 (火) 13:00~15:00

素敵な空間の中でお花の魅力
たっぷり楽しみましょう！

講師 神田悦子
材料費等 1800円
連絡先 090-3104-7257
申込締切日 12月12日

夢花美



〔 田原新鮮野菜販売 〕

12/26 (土) 11:00 ~

大好評につき無くなり次第終了です！



「千の風になつて」 〈後編〉

日本語訳・作曲をされた新井満氏は、英語原詩「1000の風」と数年かけて向き合い以下のような物語としてとらえ、「千の風になつて」がうまれました。

昔々、ネイティブアメリカンの集落に、一人の少年と一人の少女がいた。少年はウパン(雪)少女はレイラ(風)、弓と馬が名人のウパンと、うたと踊りの名手のレイラは、幼なじみ、やがて二人は恋をして結婚。レイラはその頃から健康を外し、かろうじて赤んぼうを出産した。レイラの健康はさらに悪化、ウパンは必死で看病を続けるも、レイラは帰らぬ人となった。ウパンは号泣、叫び声は岩を砕き、樹木を根こそぎ倒し、河をせきとめ、大地にとどろきわたった。墓地にレイラのなきがらを葬ると、ウパンは生きる気力がなくなった。最愛の妻を失い、生きていく意味などないのだと。

その時、ウパンのうでの中で赤ん坊が笑った。ウパンは家の中の整理をして死ぬ時を待った。するとレイラのベッドの下から一通の手紙、レイラが最期の力をふりしぼって書いた一篇の詩があった。ウパンが後を追わないように祈りの手紙であった。

「私のお墓の前で泣かないで下さい。そこに私はいません。死んでなんかいません。千の風に、千の風になって、あの大きな空を吹きわたっています。」

レイラの書き残した詩を読んでウパンははっと我に返った。レイラは死んではない。ウパンは立ちあがり、あらためて周囲を見まわした。見慣れた風景が全く新しいものに見えてきた。吹きわたる風に向かってウパンはいつの間にか妻の名前を呼んでいた。「レイラ……」

気がつけば風にも光にも山の雪にも河の流れにも、空とぶ鳥にも野に咲く小さな花びらにも、レイラのいびきを感じるではないか。そして何よりベッドで静かな寝息をたてて眠っている娘の寝顔にレイラを感じるではないか。ウパンはさとった。この娘はレイラの生まれかわりだったのか。ウパンはベッドから娘を抱きあげると戸外に出た。外は満天の星、ウパンは夜空を見上げながらつぶやいた。

「明日からこの娘といっしょに生きてゆこう」